

児童会役員選挙

27日(金)に児童会の役員選挙が行われました。本校の児童会選挙規定では役員選出について次のように定めています。

◇会長1名、副会長2名を男女問わずに選出する。

ただし、会長は5年生から、副会長は5年から1名、4年から1名とする。

◇投票は、3年生以上の児童会全員で行う。

◇3年生以上、各クラス2名の選挙管理委員を選出する。

児童会選挙は、子どもたちが将来わが国の民主政治の担い手として、正しく立派な選挙が出来る大人に育つように、という願いを込めて取り組みが行われています。ですから、順序も①告示 ②立候補予定者への説明会 ③立候補受付 ④選挙活動 ⑤立候補者のポスター掲示 ⑥立候補者のクラス訪問(立候補が各クラスに行き自分の考えを訴える) ⑦立ち会い演説会、投開票という本格的な流れになっています。

児童会選挙への取り組みでは、立候補者、責任者共にとても大変です。立候補者は敷島北小をどのような学校にしていきたいか、そのために自分に何が出来るか、を述べます。そのためには、自分の思いを文章にまとめることが必要です。このような取り組みは大変ですが、その取り組みを通して本人に驚くほどの力が育ちます。また、責任者は、立候補者の人柄を印象深く全校のみんなに伝えます。そのためには、立候補者の良い所を上手に分かりやすくアピールすることが必要です。人柄を偲ばせるエピソードなどを入れるのも効果的です。こうした取り組みを通し物事を見る目、表現する力が育ちます。

児童会選挙への取り組みは、立候補者、責任者(応援者)に大きな力を育てるだけではありません。選挙管理委員は、選挙期間を通して活動します。告示を出したり、説明したりと色々な仕事があります。目立たない縁の下の力持ちですが、無くてはならない存在です。特に委員長は責任も大きく組織全体を動かすという重要な役目を担います。

今回の選挙の立候補者、責任者、選挙管理委員長を紹介します。

○会長候補者 ()内は責任者

茂手木 美緒 (望月 絵美理)

星 野 南々 (水上 綾香)

○5年副会長候補者

横山 翼 (大間 優)

五味 岳士 (飯窪 花奈)

○4年副会長候補者

保延 亮太 (野澤 諒人)

長田 拓真 (浅川 豪)

◇選挙管理委員長は6年生の 清水 佳菜さんです。

選挙ですから当然当選者は1人だけとなります。でも、この選挙活動を通し立候補者、責任者の誰もが貴重な体験をします。この体験は、例え当選できなくても本人にとり大きな宝物になることでしょう。

講演会の話に感動

11月20日(金)に敷島総合文化会館で葦崎警察署管内少年補導員連絡協議会、北杜警察署管内少年補導員連絡協議会両者主催による地域カンファレンスがあり講演会がありました。「とても良い話なので、学校からも是非参加を」という要請もあり軽い気持ちで参加しました。講演の題目は「心豊かに生きる」で講師は林覚乗さんという福岡県にある南蔵院というお寺のご住職です。

講師の林さんは淡々とした話しぶりで、ご自身がこれまで関わった沢山の事例から分かり易い感動的なお話をして下さいました。聴いていて私自身何度も目頭が熱くなりました。久々に良い話を聴いた、心が豊かになったと感じました。幾つもの話の中からその中の1つを紹介します。(講演を聴きながらのメモを元に作成しましたので講演内容と多少違う点があることをご了承下さい)

林さんが九州電力の新入社員対象の講演会をした時の話です。講演後、多くの方から感想が寄せられました。その中の1人の女性の話です。

その女性は26歳の宮崎県の方です。2年前に恋人を事故で亡くし、それ以来何をすることも辛く、生きていることも辛い日々でした。いつそのこと私も死んで彼の元へ、そんなことを思っていました。死ぬ前に、彼と一緒に行った思いでの場所を辿(たど)ってみようと思いました。

ある時、彼と一緒に行ったことのあるパチンコ店に入ってみました。彼が打っていた台の横に座り彼との思い出に浸りました。急に涙がこぼれてきました。止めようとしても止まりません。女性の様子が尋常ではなかったのでしょうか。店員がやってきました。

「お客様どうなされましたか。」

女性は事情を話しました。すると、店員は2人のことを覚えていたのです。

「私はよく覚えています。お二人はいつも一緒に並んで座っていました。あなたはパチンコをするのもなく彼の様子を見つめていました。この台はいつまでもここにあります。彼のことを思い出したい時は、いつでもここに来てください。」

と、話しました。

1ヶ月後、女性はその店に立ち寄ると、思いでの台はそこにありました。女性はそこに座り彼との思い出に浸りました。

1年の歳月が流れました。女性はその店に行くと新しい花輪が飾られていました。「新装開店」店に入ると台は全て新しくなっていました。当然、あの台も無くなっているに違いない、と思いました。でも、念のため女性は思い出の場所に行きました。女性は思わずわが目を疑いました。真新しい台の中にあの思いでの台があったのです。女性は、その時、思いました。私は、いつまでも悲しみを引きずるのではなく、悲しみに沈んだ人に希望を、元気を与えることの出来る人になりたい、と。

ここで講師の林さんは次のように話していました。

パチンコ店の店員の心は勿論素晴らしいと思います。でも、その従業員の話を聞き、その台を残した経営者の心も美しいと思います。このように1つの美談には多くの人々の善意が詰まっているのです。傷ついた心を癒(いや)すのは人の心なのです。

そんな話でした。